

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年11月13日

【四半期会計期間】 第88期第2四半期(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

【会社名】 日鍛バルブ株式会社

【英訳名】 NITTAN VALVE CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 高橋久雄

【本店の所在の場所】 神奈川県秦野市曾屋518番地

【電話番号】 0463(82)1311(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役総務、経理、
経営企画、購買担当 小池敏雄

【最寄りの連絡場所】 神奈川県秦野市曾屋518番地

【電話番号】 0463(82)1311(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役総務、経理、
経営企画、購買担当 小池敏雄

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第87期 第2四半期連結 累計期間	第88期 第2四半期連結 累計期間	第87期 第2四半期連結 会計期間	第88期 第2四半期連結 会計期間	第87期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 7月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (千円)	18,496,708	12,648,773	9,225,978	6,713,757	31,693,871
経常利益又は経常損失 () (千円)	2,097,956	251,801	877,511	326,437	1,201,275
四半期純利益又は四半 期(当期)純損失() (千円)	1,058,721	377,742	343,377	141,811	255,937
純資産額 (千円)			30,468,380	26,873,638	26,105,629
総資産額 (千円)			45,578,084	38,935,226	37,810,526
1株当たり純資産額 (円)			929.68	821.75	809.82
1株当たり四半期 純利益金額又は四半期 (当期)純損失金額() (円)	38.89	13.08	12.24	4.91	9.12
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)					
自己資本比率 (%)			58.9	61.0	61.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	2,898,885	1,582,749			3,662,893
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	4,939,995	1,101,754			6,067,439
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,460,669	328,390			2,076,070
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)			1,355,983	1,695,747	1,437,395
従業員数 (名)			1,691	1,739	1,852

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 第87期第2四半期連結累計期間、第87期第2四半期連結会計期間及び第88期第2四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 第87期及び第88期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(名)	1,739(197)
---------	------------

(注) 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第2四半期連結会計期間の平均雇用人員であります。

(2) 提出会社の状況

平21年9月30日現在

従業員数(名)	764(140)
---------	----------

(注) 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第2四半期会計期間の平均雇用人員であります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
自動車用部品	5,606,445	78.3
その他	1,137,226	58.1
合計	6,743,671	73.9

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結会計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
自動車用部品	5,235,618	76.5	2,417,647	104.5
その他	1,212,959	61.0	396,274	57.1
合計	6,448,577	73.0	2,813,922	93.6

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
自動車用部品	5,554,140	76.6
その他	1,171,417	49.1
合計	6,725,558	69.8

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結会計期間		当第2四半期連結会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
日産自動車株式会社	1,019,873	10.5	859,149	12.8
マツダ株式会社	907,758	9.4	713,640	10.6

- 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間の業績としましては、売上高につきましては、自動車や船舶など関連する業界の需要低迷による受注の大幅な減少や為替換算の影響などにより、前年同期を大きく下回る、67億13百万円（前年同期比27.2%減）となりました。損益面につきましては、原価低減等による効果が減産・減収に伴う減益を補うにいたらず、営業利益は、1億84百万円（前年同期比76.2%減）、経常利益は、3億26百万円（前年同期比62.8%減）、四半期純利益は、1億41百万円（前年同期比58.7%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(自動車用部品)

当事業におきましては、北米子会社の連結効果による増収要因はあったものの、世界的な自動車需要の低迷や為替換算の影響により、前年同期に比べ大幅な減収となりました。

製品別の業績としましては、四輪車用エンジンバルブにつきましては、国内外において需要回復の兆しが見られ、また一部のエコカー向け製品は好調に推移したものの、欧米需要の低迷やモータースポーツ用製品の激減により前年同期に比べ大幅な減収となりました。二輪車用エンジンバルブにつきましては、需

要の低迷から国内生産は極めて低い水準で推移し、アジア生産拠点においては、持ち直しの動きが見られるものの需要の回復には至らず、また為替換算の影響により大幅な減収となりました。自動車用精密鍛造歯車につきましては欧米需要の低迷により、バルブリフターにつきましては韓国関連会社の連結除外や需要の低迷により、NT - V C Pにつきましては北米需要の低迷により、それぞれ減収となりました。

この結果、当事業の売上高は、55億54百万円（前年同期比23.4%減）、営業利益は、減産・減収の影響などにより、1億53百万円（前年同期比72.2%減）となりました。

（その他）

当事業におきましては、当事業製品の関連業界における需要低迷や在庫調整により大幅な減収となりました。

製品別の業績としましては、陸上および船舶用エンジンバルブにつきましては、海運・造船市場の低迷により補給部品等の船舶関連製品が大幅な減収、汎用製品についても北米における需要低迷により減収となりました。精密鍛造歯車につきましては、欧米向け産業機械用製品の需要低迷により減収となりました。機械設備につきましては、アジア生産拠点への販売減少により減収となりました。

この結果、当事業の売上高は、11億71百万円（前年同期比50.9%減）、営業損失は、減産・減収の影響などにより、31百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

当社グループの主要な事業拠点である当所在地におきましては、景気の持ち直しの動きが一部で見られるものの、自動車、船舶、産業機械等の関連する各業界における国内外の需要は依然低迷しており、前年同期に比べ極めて低い水準での推移となりました。

自動車用エンジンバルブにつきましては、一部のエコカー向け製品は好調に推移したものの、欧米向け製品やモータースポーツ用製品の減少により大幅な減収となり、とりわけ二輪車用エンジンバルブについては、前年同期に比べ半分以下の水準となりました。陸上および船舶用エンジンバルブにつきましては、市場の冷え込みによる製品需要の低迷により軒並み減収となりました。バルブリフター、精密鍛造歯車、NT - V C Pにつきましても海外向け製品の需要低迷によりそれぞれ減収となりました。

この結果、当所在地の売上高は、46億80百万円（前年同期比34.4%減）、営業損失は、減産・減収の影響などにより、1億65百万円となりました。

（アジア）

当所在地におきましては、総じて持ち直しの兆しが見られるものの需要の回復には至らず、また為替換算の影響により、前年同期に比べ半分以下の売上高となる極めて低い水準での推移となりました。

自動車用エンジンバルブの生産拠点である台湾、タイ、インドネシアにおいては、いずれも前年同期を下回る大幅な減収となりました。なお、バルブリフターの生産拠点であった韓国におきましては、前第2四半期に株式の一部を売却したことにより同国における関連会社を連結除外としていることから減収となっております。

この結果、当所在地の売上高は、12億31百万円（前年同期比52.6%減）、営業利益は、減産・減収の影響などにより、2億54百万円（前年同期比57.7%減）となりました。

（北米）

自動車用エンジンバルブの生産拠点である当所在地におきましては、景気の低迷により自動車需要は依然低迷しておりますが、前第3四半期より米国における関連会社の持分を増加し連結対象子会社といたしました。これにより、同社の損益計算書を取り込むこととしたため増収となりました。

この結果、当所在地の売上高は、8億96百万円（前年同期比552.7%増）、営業利益は、減産・減収の影響などにより、46百万円（前年同期比66.5%減）となりました。

（2）財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、389億35百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億24百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は、139億78百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億93百万円の増加となりました。この主な要因は現金及び預金が2億58百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、249億56百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億31百万円の増加となりました。この主な要因は投資有価証券が11億70百万円増加したことなどによるものであります。

負債の部では、流動負債は、81億80百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億4百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が4億54百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、38億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億52百万円の増加となりました。この主な要因は繰延税金負債が3億65百万円増加したことなどによるものであります。

純資産の部では、268億73百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億68百万円の増加となりました。この主な要因はその他有価証券評価差額金が4億57百万円増加したことなどによるものであります。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は16億95百万円となり前年同四半期連結会計期間末と比較して3億39百万円増加しました。

営業活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ8億61百万円減少し14億91百万円となりました。その主な要因は税金等調整前四半期純利益が減少したことによるものであります。

投資活動により使用した資金は、前年同四半期に比べ32億33百万円減少し6億61百万円となりました。その主な要因は前年同四半期においては子会社株式の取得による支出が18億85百万円あったことによるものであります。

財務活動により使用した資金は、前年同四半期に比べ23億4百万円増加し9億31百万円となりました。その主な要因は短期借入金の返済による支出が増加したことによるものであります。

（4）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対応すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

（5）研究開発活動

当第2四半期連結会計期間の研究開発費の総額は330,102千円であります。

（6）経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

我が国経済は、世界同時不況から緩やかな回復基調にあり、受注状況の劇的改善が望めない中、鋼材価格の高騰による影響、為替の動向など不透明な要素も多く、予断を許さない状況が続くものと思われま

す。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を3本柱とする中期経営方針を重点項目としてその達成に精力的に取り組むとともに、多角的な視点から企業体質の強化、企業価値の向上を図ってまいります。

(7) 経営者の問題認識と今後の方針について

当社グループ経営陣は、現在の事業環境及び入手可能な情報に基づき最善の経営方針を立案するよう努めておりますが、当社グループを取り巻く事業環境を鑑みると、原材料の価格上昇、円高を踏まえた国内外他社との競合からの価格下落など収益面では予断を許さない状況は続くものと予想されます。

その中で当社グループ経営陣は、国内事業の安定と海外事業の拡大、技術開発力の強化、製品の熟成を推進することで、お客様から信頼される優れた商品開発力を持った企業として成長していきたいと考えております。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、第1四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	89,000,000
計	89,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	28,978,860	28,978,860	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数100株
計	28,978,860	28,978,860		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年7月1日～平 成21年9月30日		28,978,860		4,530,543		4,506,156

(5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
イトンコーポレーション (常任代理人 木全紀之)	EATON CENTER 1111 SUPERIOR AVE-NUE CLEVELAND OHIO U.S.A. (東京都港区赤坂8丁目11-37 漆間興和ビル)	8,693	30.00
株式会社横浜銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目1-1 (東京都中央区晴海1丁目8-12 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	1,302	4.49
本田技研工業株式会社	東京都港区南青山2丁目1-1	1,233	4.26
トヨタ自動車株式会社	愛知県豊田市トヨタ町1	1,057	3.65
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	956	3.30
ケービーエルイービービーシリ ウスファンドジャパンオパチュ ニティズサブファンド107567 (常任代理人 株式会社みずほ コーポレート銀行決済営業部)	43 BOULEVARD ROYAL L-2955 LUXEMBOURG (東京都中央区月島4丁目16-13)	650	2.25
株式会社シンニッタン	茨城県高萩市大字上手綱3333-3	517	1.78
野村信託銀行株式会社(投信 口)	東京都千代田区大手町2丁目2-2	511	1.77
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区内幸町1丁目1-5 (東京都中央区晴海1丁目8-12 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	472	1.63
ゴールドマンサックスインター ナショナル (常任代理人 ゴールドマン・ サックス証券株式会社)	133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB, U.K (東京都港区六本木6丁目10-1 六本木ヒルズ 森タワー)	470	1.62
計		15,866	54.75

(注) 1 上記の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 956千株

野村信託銀行株式会社(投信口) 511千株

2 イートンコーポレーションが保有する株式のうち、799,800株はシービーエヌワイイトンコーポレーション(常任代理人シティバンク銀行株式会社)名義になっております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 90,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 28,857,500	288,575	
単元未満株式	普通株式 31,360		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	28,978,860		
総株主の議決権		288,575	

(注)1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が4,000株(議決権40個)が含まれております。

【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 日鍛バルブ株式会社	神奈川県秦野市首屋 518番地	90,000		90,000	0.3
計		90,000		90,000	0.3

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	278	321	385	359	366	394
最低(円)	232	263	323	299	335	331

(注) 東京証券取引所市場第二部における最高・最低株価を記載しております。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,695,747	1,437,395
受取手形及び売掛金	5,513,548	5,334,252
商品及び製品	1,574,018	1,612,387
仕掛品	1,063,044	1,103,569
原材料及び貯蔵品	1,947,520	2,213,556
繰延税金資産	700,220	353,076
その他	1,487,603	1,332,545
貸倒引当金	3,098	1,679
流動資産合計	13,978,605	13,385,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,379,100	5,543,853
機械装置及び運搬具（純額）	5,928,586	5,963,672
土地	2,228,647	2,190,435
建設仮勘定	798,688	1,037,148
その他（純額）	315,393	337,479
有形固定資産合計	14,650,416	15,072,590
無形固定資産		
のれん	1,089,737	1,225,955
その他	48,456	49,583
無形固定資産合計	1,138,194	1,275,538
投資その他の資産		
投資有価証券	8,311,377	7,141,049
出資金	940	940
長期貸付金	511,305	484,777
繰延税金資産	169,429	255,332
その他	174,957	195,194
投資その他の資産合計	9,168,009	8,077,294
固定資産合計	24,956,620	24,425,423
資産合計	38,935,226	37,810,526

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,146,904	2,692,790
短期借入金	3,013,808	2,884,874
未払法人税等	107,113	54,633
繰延税金負債	316,029	276,502
賞与引当金	343,744	377,490
役員賞与引当金	-	42,950
その他	1,252,450	1,646,172
流動負債合計	8,180,052	7,975,413
固定負債		
長期未払金	27,100	100,100
長期借入金	614,500	787,500
繰延税金負債	602,905	237,026
退職給付引当金	2,620,392	2,584,653
その他	16,636	20,203
固定負債合計	3,881,534	3,729,483
負債合計	12,061,587	11,704,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,506,955	4,506,958
利益剰余金	13,558,745	14,109,822
自己株式	45,102	45,023
株主資本合計	22,551,141	23,102,300
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,315,004	1,857,325
為替換算調整勘定	1,126,686	1,564,698
評価・換算差額等合計	1,188,318	292,626
少数株主持分	3,134,179	2,710,702
純資産合計	26,873,638	26,105,629
負債純資産合計	38,935,226	37,810,526

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	18,496,708	12,648,773
売上原価	15,273,064	11,872,606
売上総利益	3,223,644	776,167
販売費及び一般管理費	₁ 1,286,858	₁ 1,215,430
営業利益又は営業損失()	1,936,785	439,263
営業外収益		
受取利息	28,232	14,847
受取配当金	100,654	133,122
持分法による投資利益	-	69,926
為替差益	20,897	-
雑収入	44,463	23,969
営業外収益合計	194,247	241,866
営業外費用		
支払利息	27,118	31,718
手形売却損	823	-
為替差損	-	13,128
雑損失	5,134	9,557
営業外費用合計	33,076	54,404
経常利益又は経常損失()	2,097,956	251,801
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,515	-
固定資産売却益	4,829	7
投資有価証券売却益	-	42,830
関係会社株式売却益	32,241	-
特別利益合計	42,586	42,838
特別損失		
固定資産売却損	25,648	310
固定資産除却損	29,173	1,351
本社工場再整備費	45,000	-
ゴルフ会員権売却損	-	2,000
特別損失合計	99,822	3,662
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	2,040,719	212,626
法人税等	₂ 605,486	₂ 57,971
少数株主利益	376,512	223,087
四半期純利益又は四半期純損失()	1,058,721	377,742

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	9,225,978	6,713,757
売上原価	7,802,308	5,922,724
売上総利益	1,423,670	791,032
販売費及び一般管理費	¹ 649,705	¹ 606,768
営業利益	773,964	184,263
営業外収益		
受取利息	15,435	6,855
受取配当金	26,379	93,483
持分法による投資利益	-	28,373
為替差益	50,437	13,546
雑収入	31,162	15,674
営業外収益合計	123,414	157,933
営業外費用		
支払利息	15,496	15,760
手形売却損	765	-
雑損失	3,605	-
営業外費用合計	19,867	15,760
経常利益	877,511	326,437
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,515	-
固定資産売却益	125	-
投資有価証券売却益	-	42,830
関係会社株式売却益	32,241	-
特別利益合計	37,882	42,830
特別損失		
固定資産売却損	24,052	310
固定資産除却損	21,359	50
本社工場再整備費	34,473	-
ゴルフ会員権売却損	-	2,000
特別損失合計	79,885	2,361
税金等調整前四半期純利益	835,508	366,906
法人税等	² 313,255	² 58,757
少数株主利益	178,875	166,337
四半期純利益	343,377	141,811

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	2,040,719	212,626
減価償却費	1,414,849	1,103,321
のれん償却額	-	136,217
貸倒引当金の増減額(は減少)	12,087	1,284
退職給付引当金の増減額(は減少)	104,006	28,213
受取利息及び受取配当金	128,886	147,970
支払利息	27,118	31,718
持分法による投資損益(は益)	-	69,926
投資有価証券売却損益(は益)	-	42,830
関係会社株式売却損益(は益)	32,241	-
有形及び無形固定資産除売却損益(は益)	49,992	1,655
売上債権の増減額(は増加)	44,128	106,404
たな卸資産の増減額(は増加)	346,766	433,827
仕入債務の増減額(は減少)	454,524	319,958
未払消費税等の増減額(は減少)	22,073	26,055
その他	133,885	29,202
小計	3,467,544	1,473,290
利息及び配当金の受取額	128,669	158,039
利息の支払額	28,685	27,673
法人税等の支払額	668,642	20,906
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,898,885	1,582,749
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	213,780	-
定期預金の払戻による収入	264,940	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	2,464,453	798,119
有形及び無形固定資産の売却による収入	6,270	207
投資有価証券の取得による支出	1,265,109	318,309
投資有価証券の売却による収入	-	51,384
子会社株式の売却による収入	149,506	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	1,885,959	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	583,595	-
長期貸付けによる支出	101,261	6,773
長期貸付金の回収による収入	-	1,592
その他	13,744	31,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,939,995	1,101,754

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,725,869	14,085,972
短期借入金の返済による支出	4,638,640	13,940,000
長期借入れによる収入	650,000	-
長期借入金の返済による支出	154,596	173,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	4,107
株式の発行による収入	1,477,500	-
自己株式の取得による支出	459	89
配当金の支払額	210,037	173,951
少数株主への配当金の支払額	389,098	123,221
その他	131	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,460,669	328,390
現金及び現金同等物に係る換算差額	136,542	105,748
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	716,983	258,352
現金及び現金同等物の期首残高	2,072,966	1,437,395
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,355,983	1,695,747

【継続企業の前提に関する事項】

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

項目	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
1 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異などの発生状況に著しい変化がないと認められる場合は、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。
3 固定資産の減価償却費の算定方法	減価償却方法で定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
4 経過勘定項目の算定方法	合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

項目	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
1 法人税等の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額(減損損失累計額を含む) 42,120,461千円	1 有形固定資産の減価償却累計額 40,012,898千円

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1 販売費及び一般管理費の主なもの 役員報酬 123,319千円 運賃 230,739千円 給与 293,329千円 賞与 80,785千円 賞与引当金繰入額 34,271千円 退職給付費用 12,378千円	1 販売費及び一般管理費の主なもの 役員報酬 98,173千円 運賃 127,602千円 給与 225,448千円 旅費交通費 74,138千円 賞与引当金繰入額 35,244千円 退職給付費用 32,308千円 のれん償却額 136,217千円
2 「法人税等」は「法人税、住民税及び事業税」と 「法人税等調整額」を一括して記載しております。	2 同左

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1 販売費及び一般管理費の主なもの 役員報酬 59,003千円 運賃 112,552千円 給与 169,472千円 賞与 35,676千円 賞与引当金繰入額 13,684千円 退職給付費用 2,317千円	1 販売費及び一般管理費の主なもの 役員報酬 46,721千円 運賃 67,679千円 給与 113,286千円 旅費交通費 37,227千円 賞与引当金繰入額 22,794千円 退職給付費用 15,030千円 のれん償却額 68,108千円
2 「法人税等」は「法人税、住民税及び事業税」と 「法人税等調整額」を一括して記載しております。	2 同左

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 1,355,983千円 預入期間が3か月超の定期預金 千円 現金及び現金同等物 1,355,983千円	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 1,695,747千円 預入期間が3か月超の定期預金 千円 現金及び現金同等物 1,695,747千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日
 至平成21年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	28,978,860

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	90,000

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月24日 定時株主総会	普通株式	173,334	6	平成21年3月31日	平成21年6月25日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の
 効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年10月30日 取締役会	普通株式	115,555	4	平成21年9月30日	平成21年12月4日	利益剰余金

5 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	自動車用部品 (千円)	その他 (千円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,247,422	1,978,556	9,225,978		9,225,978
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		409,425	409,425	(409,425)	
計	7,247,422	2,387,981	9,635,404	(409,425)	9,225,978
営業利益	551,228	39,930	591,158	182,805	773,964

(注) 1 事業区分の方法

製品の種類、類似性を考慮して決定しております。

2 各事業区分に属する主要業務

自動車用部品...自動車用エンジンバルブ、自動車用精密鍛造歯車、バルブリフター、NT-VCP、他製造販売

その他.....陸船用エンジンバルブ、農業・建設機械用精密鍛造歯車、高圧洗浄、シリンダーヘッドの修理、他

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	自動車用部品 (千円)	その他 (千円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,554,140	1,159,616	6,713,757		6,713,757
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		11,801	11,801	(11,801)	
計	5,554,140	1,171,417	6,725,558	(11,801)	6,713,757
営業利益又は営業損失()	153,350	31,053	122,297	61,966	184,263

(注) 1 事業区分の方法

製品の種類、類似性を考慮して決定しております。

2 各事業区分に属する主要業務

自動車用部品...自動車用エンジンバルブ、自動車用精密鍛造歯車、バルブリフター、NT-VCP、他製造販売

その他.....陸船用エンジンバルブ、農業・建設機械用精密鍛造歯車、高圧洗浄、シリンダーヘッドの修理、他

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	自動車部品 (千円)	その他 (千 円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	14,647,958	3,848,749	18,496,708		18,496,708
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		579,079	579,079	(579,079)	
計	14,647,958	4,427,829	19,075,788	(579,079)	18,496,708
営業利益	1,539,351	154,557	1,693,909	242,876	1,936,785

(注) 1 事業区分の方法

製品の種類、類似性を考慮して決定しております。

2 各事業区分に属する主要業務

自動車用部品...自動車用エンジンバルブ、自動車用精密鍛造歯車、バルブリフター、NT-VCP、他製造販売
その他.....陸船用エンジンバルブ、農業・建設機械用精密鍛造歯車、高圧洗浄、シリンダーヘッドの修理、他

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	自動車部品 (千円)	その他 (千 円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,266,604	2,382,169	12,648,773		12,648,773
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		23,653	23,653	(23,653)	
計	10,266,604	2,405,822	12,672,426	(23,653)	12,648,773
営業損失()	132,613	269,679	402,293	(36,970)	439,263

(注) 1 事業区分の方法

製品の種類、類似性を考慮して決定しております。

2 各事業区分に属する主要業務

自動車用部品...自動車用エンジンバルブ、自動車用精密鍛造歯車、バルブリフター、NT-VCP、他製造販売
その他.....陸船用エンジンバルブ、農業・建設機械用精密鍛造歯車、高圧洗浄、シリンダーヘッドの修理、他

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千 円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,655,097	2,433,547	137,334	9,225,978		9,225,978
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	476,171	161,432		637,604	(637,604)	
計	7,131,268	2,594,979	137,334	9,863,583	(637,604)	9,225,978
営業利益又は営業損失()	71,932	602,138	137,334	667,541	106,423	773,964

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
アジア...台湾、韓国、インドネシア、タイ
北米.....アメリカ
3 北米のU.S.エンジンパルプコーポレーションはパートナーシップへの投資を行っており投資利益を売上高に計上しており、営業費用は計上しておりません。

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千 円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,629,195	1,188,144	896,417	6,713,757		6,713,757
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	51,025	43,108		94,133	(94,133)	
計	4,680,221	1,231,252	896,417	6,807,891	(94,133)	6,713,757
営業利益又は営業損失()	165,861	254,975	46,045	135,159	49,104	184,263

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
アジア...台湾、インドネシア、タイ
北米.....アメリカ

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千 円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,570,488	4,671,302	254,918	18,496,708		18,496,708
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	711,252	298,184		1,009,437	(1,009,437)	
計	14,281,740	4,969,486	254,918	19,506,145	(1,009,437)	18,496,708
営業利益	291,984	1,225,074	254,918	1,771,977	164,808	1,936,785

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
アジア...台湾、韓国、インドネシア、タイ
北米.....アメリカ
3 北米のU.S.エンジンバルブコーポレーションはパートナーシップへの投資を行っており投資利益を売上高に
計上しており、営業費用は計上しておりません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千 円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,871,744	2,164,126	1,612,903	12,648,773		12,648,773
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	96,299	86,284		182,584	(182,584)	
計	8,968,043	2,250,410	1,612,903	12,831,358	(182,584)	12,648,773
営業利益又は営業損失()	830,690	436,016	47,452	442,125	2,862	439,263

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
アジア...台湾、インドネシア、タイ
北米.....アメリカ

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	アジア	ヨーロッパ	北米	連結
海外売上高(千円)	2,609,435	627,442	147,334	3,384,212
連結売上高(千円)				9,225,978
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	28.3	6.8	1.6	36.7

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 アジア.....台湾、韓国、インドネシア、タイ他
 ヨーロッパ...スウェーデン、ドイツ、フィンランド、イタリア、フランス他
 北米.....アメリカ他
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域の売上高であります。

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア	ヨーロッパ	北米	連結
海外売上高(千円)	1,357,303	517,539	900,499	2,775,342
連結売上高(千円)				6,713,757
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	20.2	7.7	13.4	41.3

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 アジア.....台湾、韓国、インドネシア、タイ他
 ヨーロッパ...スウェーデン、ドイツ、フィンランド、イタリア、フランス他
 北米.....アメリカ他
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域の売上高であります。

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	アジア	ヨーロッパ	北米	連結
海外売上高(千円)	4,918,301	1,262,745	270,456	6,451,502
連結売上高(千円)				18,496,708
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	26.6	6.8	1.5	34.9

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 アジア.....台湾、韓国、インドネシア、タイ他
 ヨーロッパ...スウェーデン、ドイツ、フィンランド、イタリア、フランス他
 北米.....アメリカ他
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域の売上高であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア	ヨーロッパ	北米	連結
海外売上高(千円)	2,431,157	1,062,356	1,616,989	5,110,503
連結売上高(千円)				12,648,773

連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.2	8.4	12.8	40.4
--------------------------	------	-----	------	------

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
アジア.....台湾、韓国、インドネシア、タイ他
ヨーロッパ...スウェーデン、ドイツ、フィンランド、イタリア、フランス他
北米.....アメリカ他
- 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域の売上高であります。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)

その他有価証券で時価のあるものが、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、当該有価証券の四半期連結貸借対照表計上額が前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

1 その他有価証券で時価のあるもの

区分	取得原価 (千円)	連結貸借対照表計上額 (千円)	差額 (千円)
連結貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの			
株式	1,369,197	5,267,906	3,898,708
債券			
その他			
小計	1,369,197	5,267,906	3,898,708
連結貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの			
株式			
債券			
その他			
小計			
合計	1,369,197	5,267,906	3,898,708

前連結会計年度末(平成21年3月31日)

1 その他有価証券で時価のあるもの

区分	取得原価 (千円)	連結貸借対照表計上額 (千円)	差額 (千円)
連結貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの			
株式	1,373,947	4,502,108	3,128,160
債券			
その他			
小計	1,373,947	4,502,108	3,128,160
連結貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの			
株式			
債券			
その他			
小計			
合計	1,373,947	4,502,108	3,128,160

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
821.75円	809.82円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	26,873,638	26,105,629
普通株式に係る純資産額(千円)	23,739,459	23,394,926
差額の主な内訳(千円)		
少数株主持分	3,134,179	2,710,702
普通株式の発行済株式数(千株)	28,978	28,978
普通株式の自己株式数(千株)	90	89
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式 の数(千株)	28,888	28,889

2 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 38.89円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額に ついては、潜在株式が存在しないため記載しておりませ ん。	1株当たり四半期純損失金額 13.08円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額に ついては、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株 式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益又は四半 期純損失()(千円)	1,058,721	377,742
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 ()(千円)	1,058,721	377,742
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(千株)	27,223	28,888

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 12.24円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 4.91円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	343,377	141,811
普通株式に係る四半期純利益(千円)	343,377	141,811
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(千株)	28,056	28,888

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

リース取引残高は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

2 【その他】

第88期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)中間配当については、平成21年10月30日開催の取締役会において、平成21年9月30日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	115,555千円
1株当たりの金額	4円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成21年12月4日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月13日

日鍛バルブ株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鐵 義 正 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大 石 暁 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 清 水 正 夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日鍛バルブ株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日鍛バルブ株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月13日

日鍛バルブ株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鐵 義 正 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大 石 暁 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 清 水 正 夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日鍛バルブ株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日鍛バルブ株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。